

令和3年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和4年3月1日
幼稚園型認定こども園宇宿幼稚園

1 本園の教育目標

心豊かでしなやかに、生かされて生きることに基づき、感謝する園児を育成する。

2 本年度重点的に取り組む目標・計画

幼稚園教育要領及び本園のまことの保育を踏まえ、一人一人を大切にした質の高い教育の実践を行う。

3 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	園内研修を充実させ、教育内容の質を向上させる。	A	昨年度に引き続き、個々に研修テーマを設定し、自らの資質向上に取り組むことができた。研究保育後の意見交換も、学びの深まりにつながっている。
2	日々の保育活動を充実させ、心身ともにたくましく感性豊かな子どもを育てる。	A	発達段階を踏まえながら保育内容を工夫し、個々の特性に応じた関わり方にも努めた。研究保育での成果を、教育課程の見直しに反映させたい。
3	子どもの様子が分かるような説明や広報に努める。	B	ホームページの更新やポートフォリオの配信を通して、子どもの成長を保護者と共有できた。読み手を意識したお便りの作成に努めたい。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4 総合的な評価結果

評価	理由
B	本年度も感染防止対策に努めながら、子どもたちが楽しい園生活を送ることができるように、可能な限り行事を実施し、通常保育を進めることができた。一年間の行事や保育内容につながりを持たせることで、より質の高い保育が実践できると考える。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	教育・保育の質の向上	研究保育の実施を通して、日常の保育のさらなる質の向上を図りたい。また、日常的な情報交換を大切に、切磋琢磨し合える関係性を構築したい。
2	小学校との連携の充実	コロナ禍で研修会が十分実施できなかった。園内研修において幼保小接続の重要性を共通理解し、学びの連続性を意識した保育実践に努めたい。
3	園児数確保	入園の優先基準を設定したが、入園希望の把握の仕方が十分でなかったため、園児数確保が難しかった。把握の仕方を検討する必要がある。

6 学校関係者評価委員会の評価

4段階評価（4とても良い 3良い 2良くない 1とても良くない）で実施。

- （1）本園のランドデザインについては、全ての委員から「とても良い」の評価をいただいた。子どもたちの姿に、ランドデザインの内容が反映されているとのご意見をいただいた。
- （2）本年度の園運営も、コロナ禍での感染防止対策に努めながら可能な限り行事を実施していたということで、全ての委員から「とても良い」の評価をいただいた。
- （3）学校評価については、平均3.2の評価をいただいた。
本年度も保育参観の代わりに、一年間の行事や保育の様子を写真で見てください、子どもたちの様子を知っていただいた。職員による評価と保護者による評価の結果も示したが、職員による評価が厳しいのではないかとのご意見をいただいた。
- （4）宇宿幼稚園の教育内容については、全ての委員から「とても良い」の評価をいただいた。
コロナ禍での保育の工夫やなかよし発表会でのライブ配信を評価していただいた。本年度も、地域行事への参加ができなかったが、門徒さん方とのふれ合いは工夫できた。来年度も感染防止対策を徹底しながら、行事や保育の工夫に努めていきたい。